

### 学校向け 平和学習デジタルコンテンツ 「戦争と人々の暮らし」

「戦争と人々の暮らし」は、学校における平和学習の授業で利用することができるデジタルコンテンツです。資料館見学の事前事後学習としての授業での活用、普及を目的に制作しました。



コンテンツ内では、テーマに合わせた写真の閲覧や、戦争体験の証言映像を視聴することができます。調べ学習として、コンテンツ内の写真を使って自分でカードを作ることができます。また、さまざまな資料を掲載していることから、幅広い年代の授業内容にあわせた利用が可能です。

### トピックス

#### ●文化庁Innovate MUSEUM事業に採択されました

令和6年度地域課題対応支援事業において、ピースおおさかの「平和教育へのアプローチ—平和資料館と学校との連携による平和学習モデルの発展・活用—」が採択されました。

#### ●「ピースおおさか戦争証言2022」をYouTubeに公開しました

ピースおおさかが制作した5人の戦争体験者の証言映像のうち、4人の証言映像を第一次大阪空襲があった2024年3月13日にYouTubeで公開しました。

#### ●平和学習プログラム 新規事業の開始について

2024年3月末の「平和学習協力者」紹介事業の終了に伴い、新たに「戦争体験証言などの映像視聴」を開始しました。団体見学とあわせて、戦争体験証言などの映像を講堂で視聴することができます。

### 大阪空襲死没者名簿について

第二次世界大戦末期、50回を超える空襲により、大阪では約1万5,000人の犠牲者が出たといわれています。

ピースおおさかでは「大阪空襲死没者名簿」を保管しており、館内に設置している検索システムで、名簿情報(非公開分を除く氏名・年齢・性別)を閲覧することができるほか、中庭には、大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」も存在します。

2024年3月末時点で判明している大阪空襲死没者は9,157名です。ピースおおさかでは、名簿の追加申請なども随時受け付けています。

大阪空襲で亡くなられた方にお心当たりがある場合は、ピースおおさかまでお問い合わせください。



### 平和寄金へご寄附のお願い

大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」の整備・維持、当館で開催している特別展や企画事業などは、寄附金(平和寄金)をもとに実施しています。

戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へしっかり引き継いでいくため、平和寄金にご寄附をお願いいたします。

銀行振込※	寄附申込書を振込手続きの前に当財団事務局へ郵送又はFAXをしてください
送 金	当財団事務局へ送金いただく際、寄附申込書を同封してください
持 参	寄附申込書を当財団事務局へ持参ください (なお、持参日を事前にお知らせください)

※寄附金は「寄附金控除」の対象になり、税の優遇措置が受けられます。  
※銀行への振込口座につきましては、ピースおおさかまでお問い合わせください。  
※寄附申込書は当館またはホームページからダウンロードして取得できます。

### <平和寄金へご寄贈いただいた皆様>

佐治るみ子、寺田治史(匿名ご希望の方を除く)

(2024年1月~2024年12月の間に1万円以上ご寄附の方。敬称省略)ご寄附いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

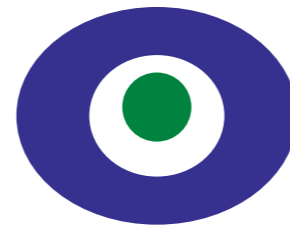
### ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

会員特典	◇1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。 講演会・特別展示などの催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。
会 費	◇個人会員 年額2千円 ◇団体会員 年額1万円(1口) ※何口でも結構です。
申込方法	◇直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ◇銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行) ◇郵便局振込

### <問い合わせ先>

ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号  
TEL. 06-6947-7208 FAX. 06-6943-6080  
ホームページ <https://www.peace-osaka.or.jp>



大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム

# ピースおおさか

OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2025  
(令和7) 1/22  
No.52

このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

編集・発行 / 公益財団法人 大阪国際平和センター TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080  
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 ホームページ <https://www.peace-osaka.or.jp>

## 特別展「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」

期 間: 2024(令和6)年4月16日(火)~7月14日(日)

主 催: ワルシャワ蜂起博物館、ワルシャワ市

共 催: ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)

参加者: 18,890名



ワルシャワ蜂起から80周年記念関連事業として、ポーランドにあるワルシャワ蜂起博物館による特別展を開催しました。

第二次世界大戦によって首都ワルシャワの街は破壊しつくされ、多大な被害を受けましたが、戦後現代的な大都市へと復興を遂げました。特別展では、ワルシャワ蜂起の歴史と街の変遷について、パネルと映像で紹介しました。

開催初日には駐日ポーランド共和国大使館大使、ワルシャワ蜂起博物館館長や大阪府・大阪市関係者などを招待し、オープニングセレモニーも行いました。



## 特別展「キュラソー・ビザ —ズワルテンダイク・オランダ領事と「命のビザ」の知られざる原点—

期 間: 2024(令和6)年8月24日(土)~9月22日(日)

共 催: 駐日オランダ王国大使館

参加者: 5,108名



第二次世界大戦中のヨーロッパ。大きな危険にさらされたユダヤ人の多くが、自らの命を守るため、「ビザ」を手に入れた。国や故郷から離れました。

特別展では、杉原千畝の「命のビザ」の原点となった「キュラソー・ビザ」を生み出した中心的存在であるヤン・ズワルテンダイク・オランダ領事をはじめとした人々に着目し、パネル展示を中心に、ビザ実現の背景にあった知られざる物語を紹介しました。

## 開館の日平和祈念事業 シンポジウム「キュラソー・ビザ、命のビザ、貢献者の輪」

日 時: 2024(令和6)年9月15日(日) 午後2時~3時30分

共 催: 駐日オランダ王国大使館

参加者: 88名

特別展関連イベントとして、駐日オランダ王国大使館による特別展の紹介と、北出明さんと人道の港 敦賀ムゼウムの西川明徳館長の講演によるシンポジウムを開催しました。

北出さんの基調講演では、「命のビザ」の発行の背景と、ユダヤ難民のその後についてお話いただきました。続いて西川館長の講演では、敦賀港の歴史と敦賀ムゼウムの事業が紹介されました。

それぞれの視点から、ビザ実現の「貢献者」について貴重なお話を聞くことができました。



### 新グッズ紹介 ピースおおさかオリジナルグッズ入荷!

#### 折りたたみエコバッグ

丈夫で使いやすい折りたたみエコバッグ!  
サイズ: 30×55×18cm 価格: 600円(税込)



#### キャンバスポーチ

ちょっとした小物入れに最適なマチ付きポーチ!  
サイズ: 19×13×6cm 価格: 500円(税込)



ミュージアムショップにて販売中!

### ピースおおさか ご利用案内

- 団体見学の見学申込受付
- 戦争と平和に関する展示・映画上映
- DVDやパネルなどの団体向け資料貸出

## ピースおおさか2024(令和6)年1月から2024(令和6)年12月までの主な事業

### 特別展「特攻—知覧・万世に遺された若者たちの思い—」

期 間：2024(令和6)年1月16日(火)～3月31日(日)

協 力：知覧特攻平和会館、万世特攻平和祈念館

参加者：17,172名



太平洋戦争末期、沖縄戦において爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をする“特攻作戦”が行われました。

特別展では、鹿児島県にある知覧特攻平和会館と万世特攻平和祈念館の協力により、特攻に至る経緯や特攻の出撃基地などを説明したパネルを展示しました。

また、特攻隊員の遺影・遺書も合わせて紹介し、その思いを知るとともに、戦争の悲惨さと平和の大切さを考える機会となりました。

### 大阪大空襲平和祈念事業 講演会「知覧・万世が伝える“特攻の記憶”」

日 時：2024(令和6)年3月10日(日) 午後2時～3時45分

参加者：152名

特別展関連イベントとして、鹿児島県にある知覧特攻平和会館学芸員の八巻聡さんと万世特攻平和祈念館学芸員の楮畑耕一さんをお招きし、講演会を開催しました。

講演では、第二次世界大戦までの知覧・万世飛行場の歴史と、戦後それぞれの資料館が設立された経緯について解説が行われました。

さらに遺された資料の中から、知覧・万世から出撃していった特攻隊員のエピソードや戦争体験者の証言が紹介されました。

戦後から約80年が経った今、戦争記憶の語り継ぎが大きな課題となっています。この課題について、各資料館が考える将来像もお話いただきました。



#### 映画

### 「ラストメッセージ～“不死身の特攻兵”佐々木友次伍長～」上松道夫監督トーク付き上映会

日 時：2024(令和6)年2月17日(土) 午後2時～4時15分

参加者：175名



2024年2月、毎週土曜日に行っている上映会「ウィークエンド・シネマ」で、ドキュメンタリー映画「ラストメッセージ～“不死身の特攻兵”佐々木友次伍長～」を上映しました。

2月17日には上松道夫監督をお招きし、上映前トークを行いました。映画の解説や、実際に佐々木友次さんにインタビューをした状況などの制作背景をお話いただきました。

#### 終戦の日 平和祈念事業

### 「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

日 時：2024(令和6)年8月15日(木) 午後2時～3時20分

協 力：学校法人相愛学園

参加者：146名

#### 開戦の日 平和祈念事業

### 「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

日 時：2024(令和6)年12月8日(日) 午後2時～4時

出演者：桂春團治、林家花丸、桂春雨、月亭遊真

参加者：120名

#### 特別展

### 「終わらなかった戦争 モノとマンガで知るシベリア抑留」

期 間：2024(令和6)年10月1日(火)～12月27日(金)

共 催：平和祈念展示資料館(総務省委託)

参加者：24,627名

#### 出前展示

- ① 大阪府・市立図書館  
大阪府立中央図書館、大阪市立中央図書館をはじめ、市内各地域図書館
- ② 大阪市立総合生涯学習センター  
期間：2024(令和6)年7月17日(水)～7月26日(金)  
内容：写真パネル、実物資料の展示
- ③ 大阪府庁本館  
期間：2024(令和6)年6月14日(金)～6月28日(金)  
内容：写真パネルの展示
- ④ 中央区民まつり  
日時：2024(令和6)年10月20日(日)  
内容：写真パネルの展示

ほか各所にて実施。

そのほか、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、ウィークエンド・シネマ、親子まつりなども実施しました。



#### 展示紹介

### 「焼け残ったミシンの頭部」

こちらは1階展示室にある実物資料です。持ち主の家は空襲で全焼しましたが、ミシンは水槽に沈めて避難したため無事でした。戦時下の大阪の街は、さまざまな規模の工場と木造住宅で密集していたため空襲に弱く、被害が拡大しました。このコーナーでは、無差別爆撃の恐ろしさと大阪大空襲の被害について、実物資料を用いて紹介しています。



### 資料収集に ご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料の収集、保存、展示等を行っています。後世に伝えていくために、資料収集へのご協力よろしくお願いたします。  
※資料によってはお受けできない場合もありますので、まずはお電話でお問い合わせください。